

令和3年2月22日

新型コロナウイルス感染者の発生と今後の対応について 第6報

社会福祉法人ちいさがた福祉会
理事長 太田 心平
業務執行理事兼対策本部長 茅野 隆徳

平素より当法人の事業運営にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、このたびの障がい及び介護サービス事業所で発生しました新型コロナウイルス感染症につきまして、事業休止期間中、ご利用者様、ご家族の皆様にはご不便、ご心配をおかけしましたことをあらためましてお詫び申し上げます。おかげ様で、2月14日をもちまして休止をしておりました法人内3事業所全ての営業が再開されました。

当法人は、県より発信された県内第1号の新型コロナウイルス陽性者発生の報を受けた昨年2月に、感染症予防対策委員会を設置し、利用者家族面会制限、換気、消毒液設置等環境面整備、職員の自己管理として1日4回の検温結果、健康チェック、行動範囲等「自己管理ノート」への記録、県外外出予定表の提出義務付け、利用者の検温、体調管理シートの記入等を決め、職員自らの危機管理意識の徹底を図りました。又、利用者の安全確保のために職員が自らを守る事を目的として、6月に全職員及び特養入所者、グループホーム入所者を対象に抗体検査を実施しました。予防対策強化として、感染症対策マニュアルの作成、感染管理認定看護師招聘による研修会実施及び各事業所視察による外部指導を受けました。特養本入所者及び新規ショートステイ利用者の受入れ時や新規入職職員採用時のPCR検査実施、12月には危機管理徹底強化として、法人感染症対策本部を設置し、法人内事業所全ての利用者、職員の日々の健康状態の報告の義務付け、今年1月中旬に全職員対象の抗原検査を実施する等の対応を図って参りました。その結果としてのこのたびの事態発生を真摯に受け止めます。具体的に、職員1人1人の日常業務の中での行動の見直し、安心・安全なサービス提供が知識、経験からしっかり担保された介護・支援の基本の見直し、そのための利用者の皆様個々のケアプランに基づくサービス提供の重要性が課題として示されました。このたびの件を教訓とし、今後も対処対応につきましては関係機関と連携を図ると共に、法人全職員がより一層の危機管理意識を持ち、職員・利用者共に「いのちを守る事」を最優先とした対応を図って参ります。

最後になりましたが、上田保健所のご指導、職員、利用者の入院等受入れを頂いた医療機関、東御市をはじめとした行政、関係機関の皆様のご協力及び温かい励ましのお言葉を頂戴しましたご利用者、ご家族の皆様にあらためまして衷心より感謝申し上げます。

社会福祉法人ちいさがた福祉会感染症対策本部
住所 東御市常田2番地1
電話 0268-64-7200（フォーレスト）